





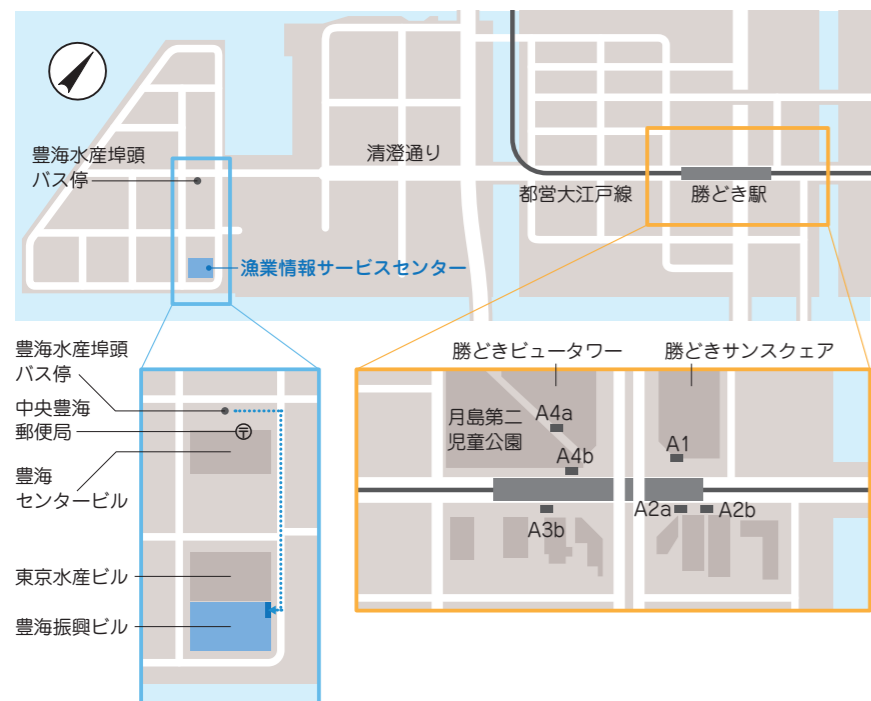
JAFIC事務所等



-  JAFIC本部
-  JAFIC出張所・駐在所 (11か所)
-  協力漁船設置漁業無線局 (海況情報) (13か所)
-  漁況情報収集調査地 (26か所)

*上記の他、国の委託を受けて、水産物流通調査を約200か所で行っている。



JAFIC本部



-  **地下鉄**
都営大江戸線「勝どき」駅下車A3b出口
→ 徒歩15分(約1km)
-  **バス**
東京駅丸の内南口より
都バス[都04:豊海水産埠頭行]乗車
→ 豊海水産埠頭(終点)下車 → 徒歩2分
※都04系統は、有楽町駅(有楽町駅前)、
銀座駅(銀座4丁目、三越横)からも乗車できます。
- 門前仲町駅より
都バス[門33:豊海水産埠頭行]乗車
→ 豊海水産埠頭下車 → 徒歩2分



一般社団法人漁業情報サービスセンター
〒104-0055
東京都中央区豊海町4-5 豊海振興ビル6階
jafic.or.jp



jafic.or.jp

一般社団法人 漁業情報サービスセンター

お任せください
 海況・漁況・市況の情報発信
 水産情報のシステム整備
 地域水産業の振興支援

JAFICは水産改革を支える
 スマート水産業を推進します

事業

JAFICは、定款に基づき、次の事業を行なっています

漁況海況その他漁業に関する情報提供のサービス

漁業に関する情報の収集及び処理技術の開発

漁業情報の効果に関する調査及び研究

漁業資源及び海洋に関する知識の活用及び普及

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

会員

正会員 次の会員で構成されています。

地方公共団体

中央水産団体

賛助会員 JAFICの事業に賛同する次の団体等が加入しています。

地方自治体(市町村)

中央水産団体

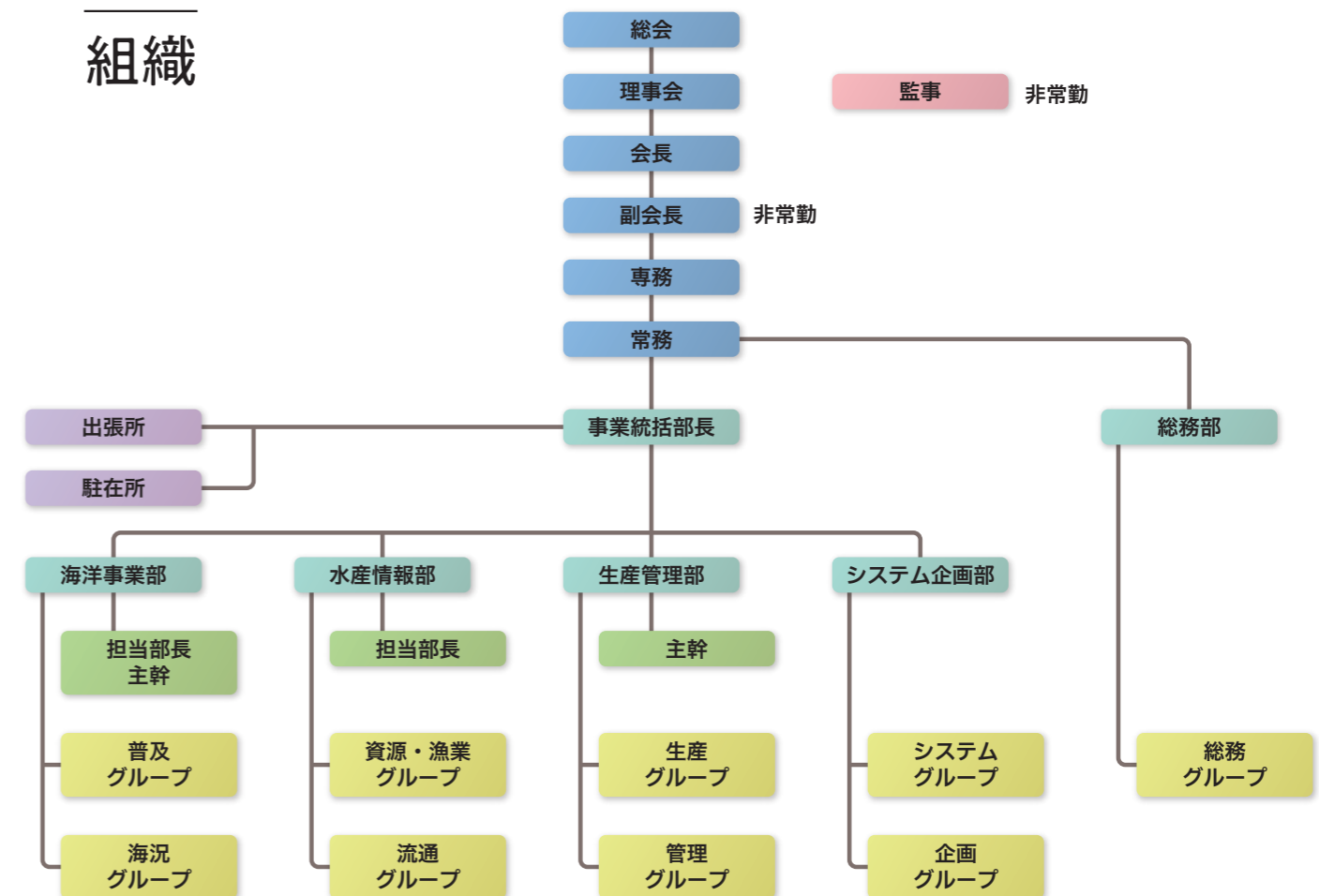
漁業協同組合連合会

地方水産団体

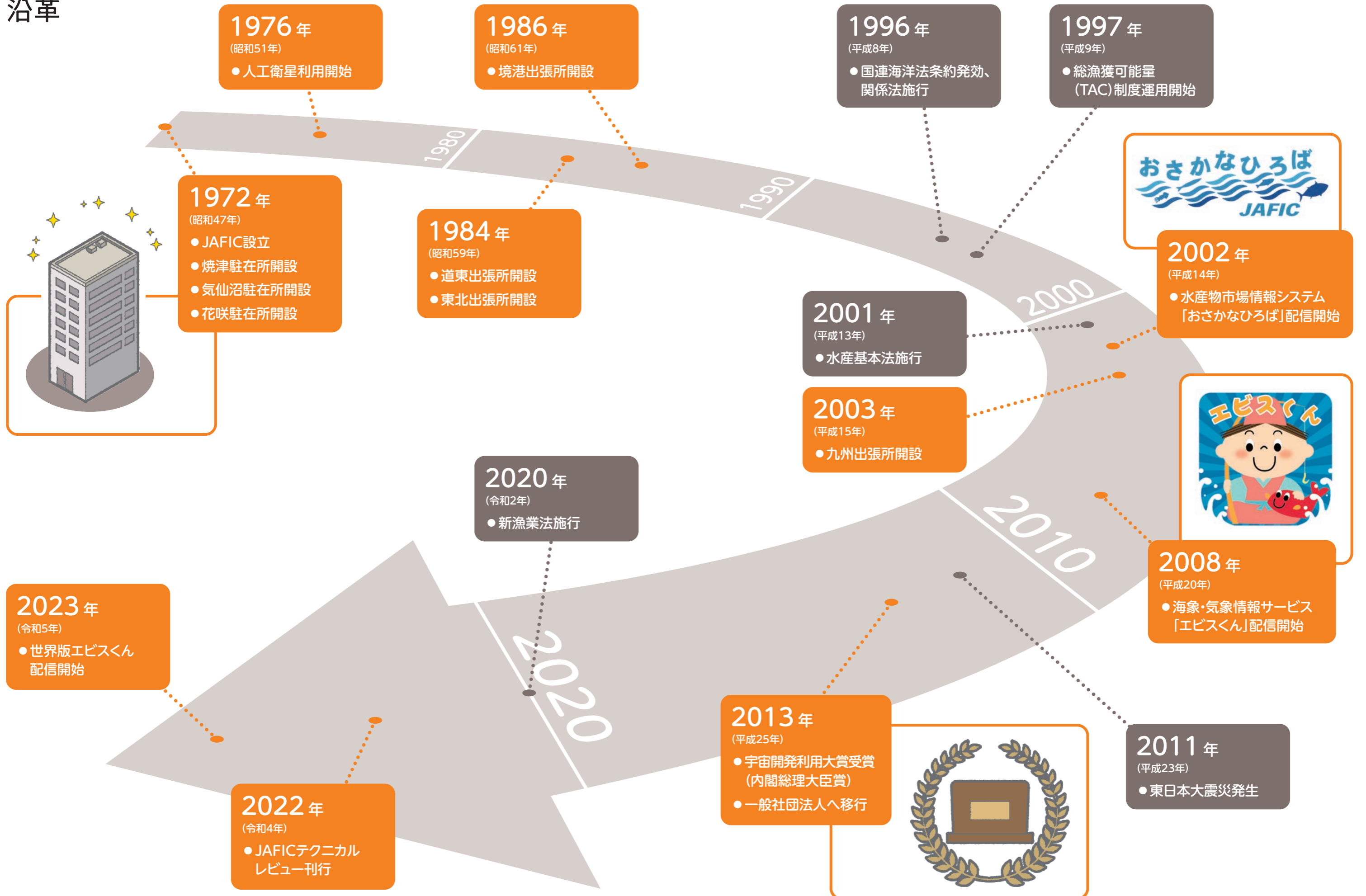
漁業会社

その他関係団体

組織

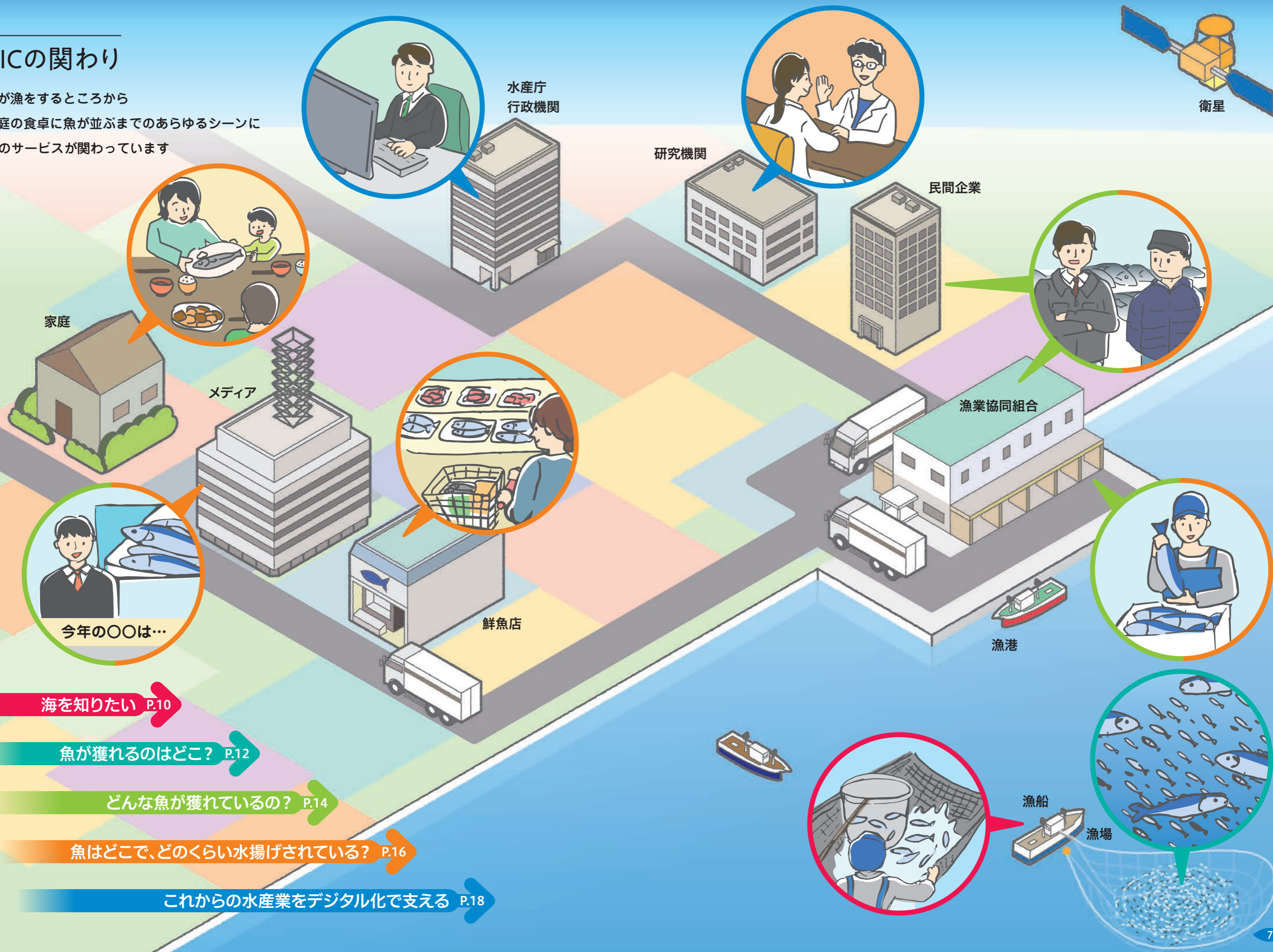


沿革



JAFICの関わり

漁業者が漁をするところから
一般家庭の食卓に魚が並ぶまでのあらゆるシーンに
JAFICのサービスが関わっています

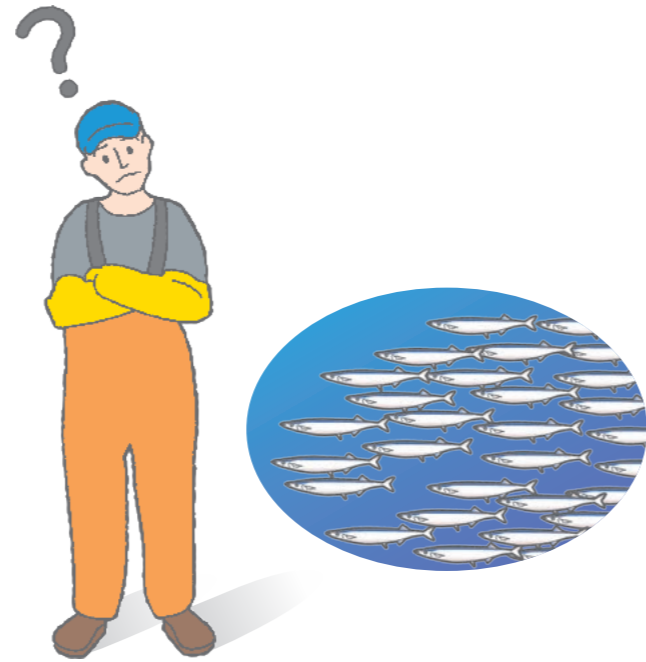


海を知りたい

P.10

魚が獲れるのはどこ?

P.12



どんな魚が獲れているの?

P.14

今年は缶詰どれくらい作れるかな?

どうして大漁なの?
どうして不漁なの?

今年のサンマは
大きい?
小さい?



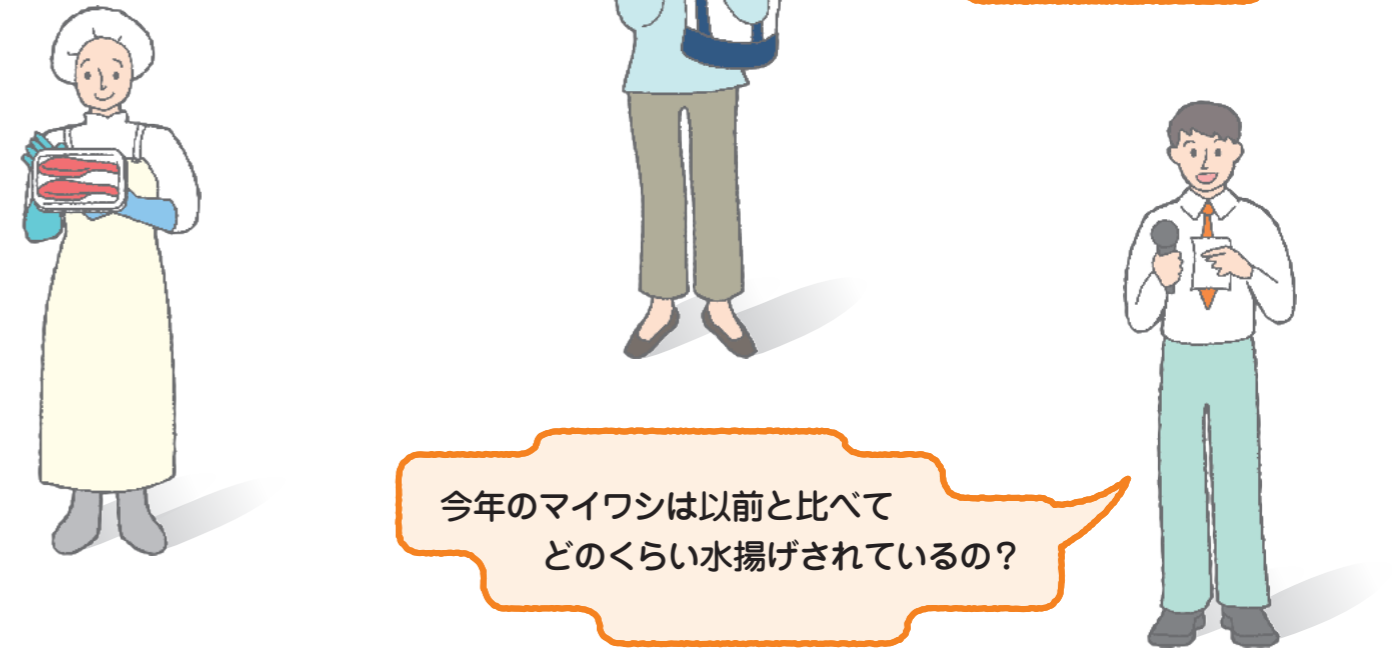
魚はどこで、どのくらい水揚げされている?

P.16

今日はどこで、
どのくらいカツオが
水揚げされたの?

今年のサンマの価格は
去年よりも
安い? 高いの?

今年のマイワシは以前と比べて
どのくらい水揚げされているの?

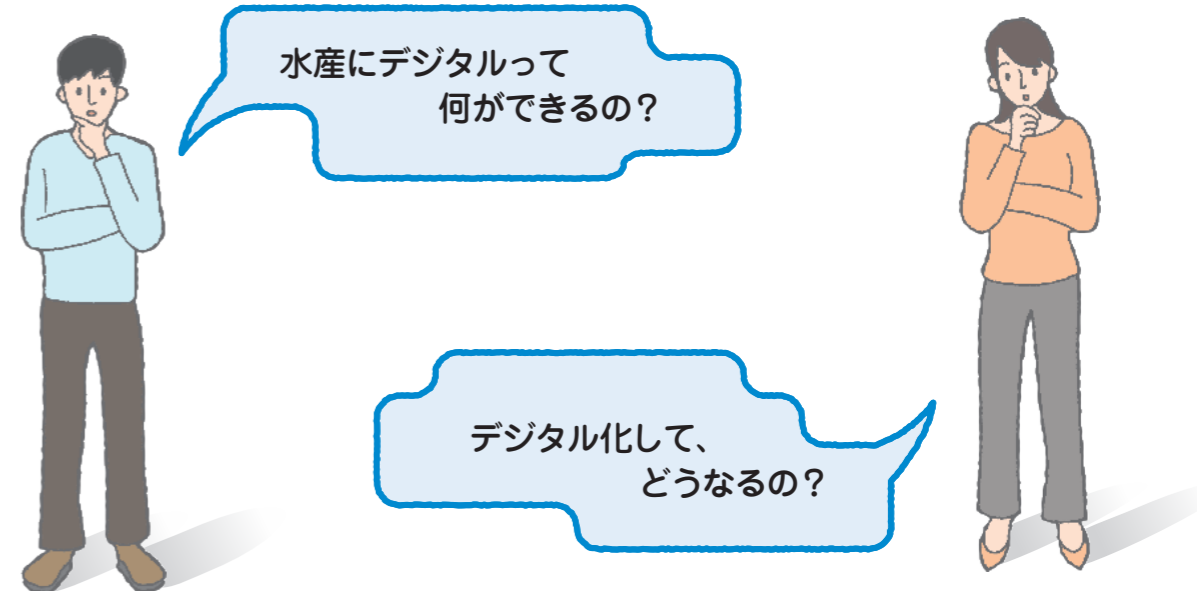


これからの水産業をデジタル化で支える

P.18

水産にデジタルって
何ができるの?

デジタル化して、
どうなるの?



海を知りたい

広い海を自由に移動する魚を獲るには、水温や海流といった海の状況を知ることが第一歩です。JAFICでは、衛星データや船舶観測データ等を解析して海洋情報を配信しています。

1 QUESTION 海を知りたい

マグロやイカが好きな水温はどこにあるのだろう？

餌になる生き物はどこにいるのだろう？

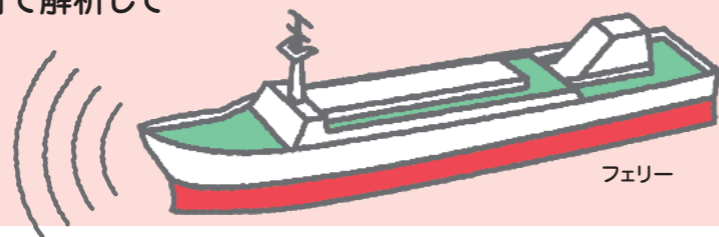
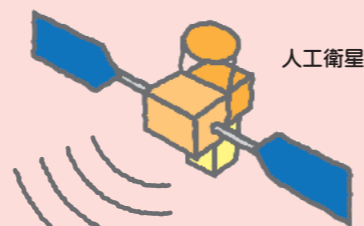
海流の方向や速さはどのくらいだろう？



2 APPROACH 海を知るには

衛星や船舶から海の情報を実タイムに収集

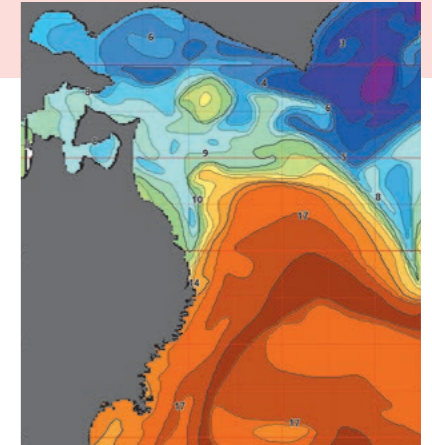
- ①人工衛星によって宇宙から海を観測した広範囲データを収集
- ②漁船やフェリーなどが実際に計測したピンポイントのデータを収集
- ③収集したこれらのデータをJAFIC独自の技術で解析して海洋情報を作成



3 ANSWER 海を知る

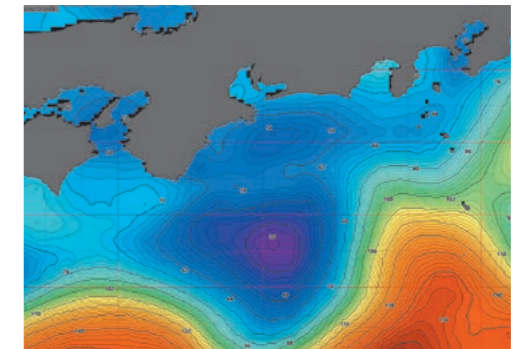
表層水温

- ・適水温の範囲を知ることで魚の行動範囲を予測
- ・餌場となる暖水と冷水のぶつかる場所を推測可能
- ・これらの情報から漁場を推測



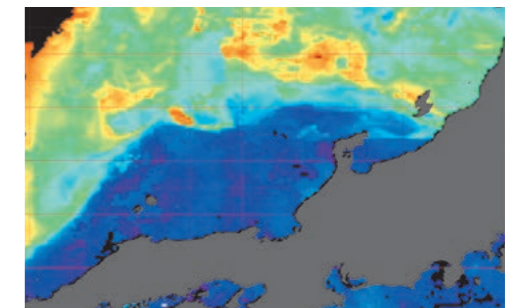
海面高度

- ・海面の高低で、情報の乏しい海の中の水温分布を推測
- ・北半球では海面が高い部分を時計回りに海流が流れる



水色(植物プランクトン)

- ・プランクトンが多ければ魚の餌が多く集まる
- ・水色の移り変わりで流れを推測

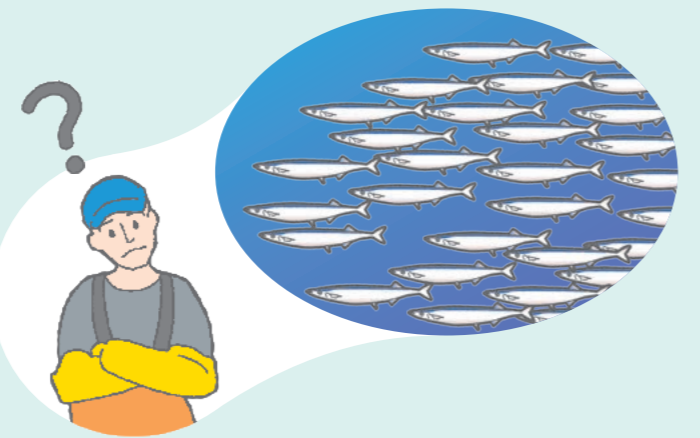


魚が獲れるのはどこ？

広い海でコストを抑えて効率的に操業するため
 漁場予測の技術が注目されています。
 JAFICでは、過去の漁獲情報と海洋環境との関係から予測した
 予測漁場情報を配信しています。

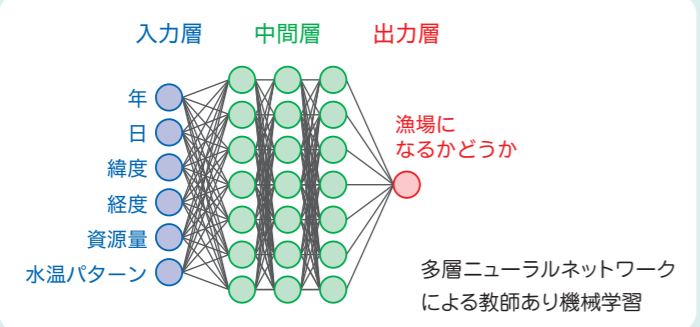
1 QUESTION 漁場を知りたい

どこにいけば
 魚が獲れるの？

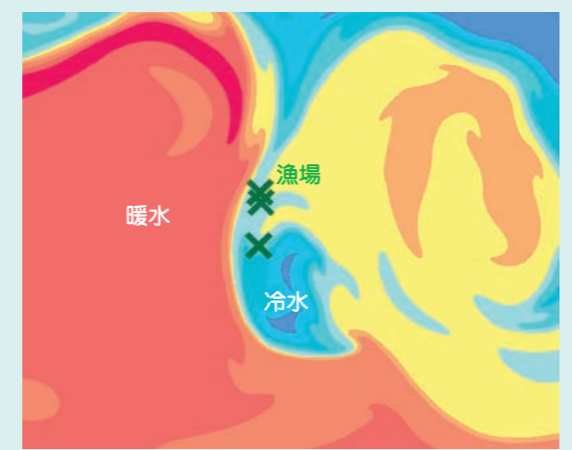


2 APPROACH 漁場を知るには

- ①独自の調査によって海洋環境データや漁場データを長期収集
- ②データ間の関係性をもとに漁場位置などを予測
- ③AIも活用して予測



魚のいる水温は？

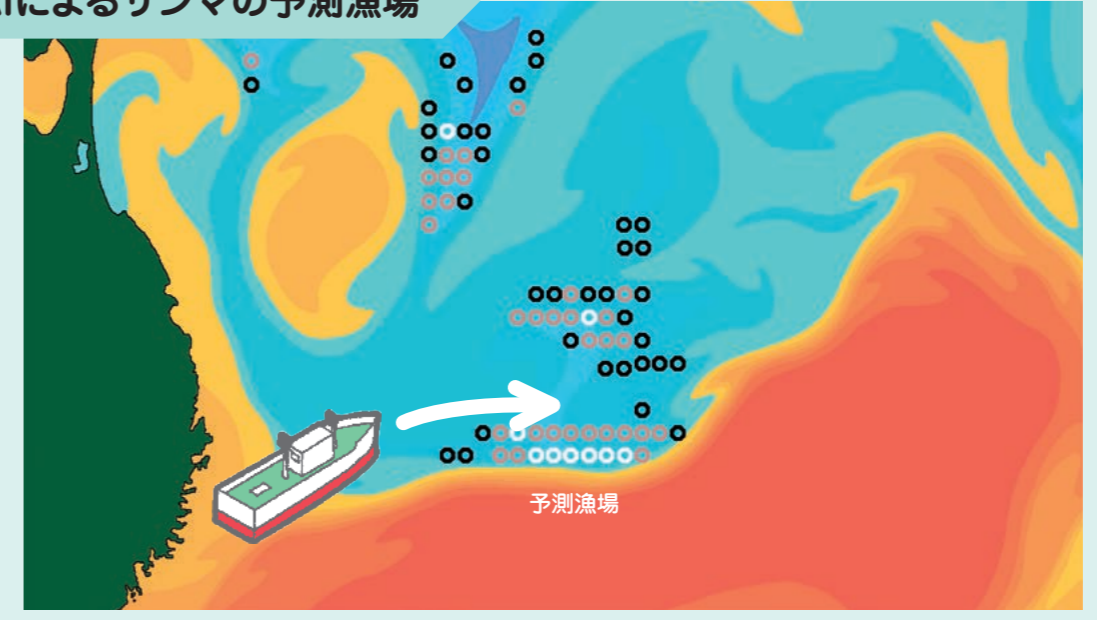


魚がいるところ
 の特徴は？

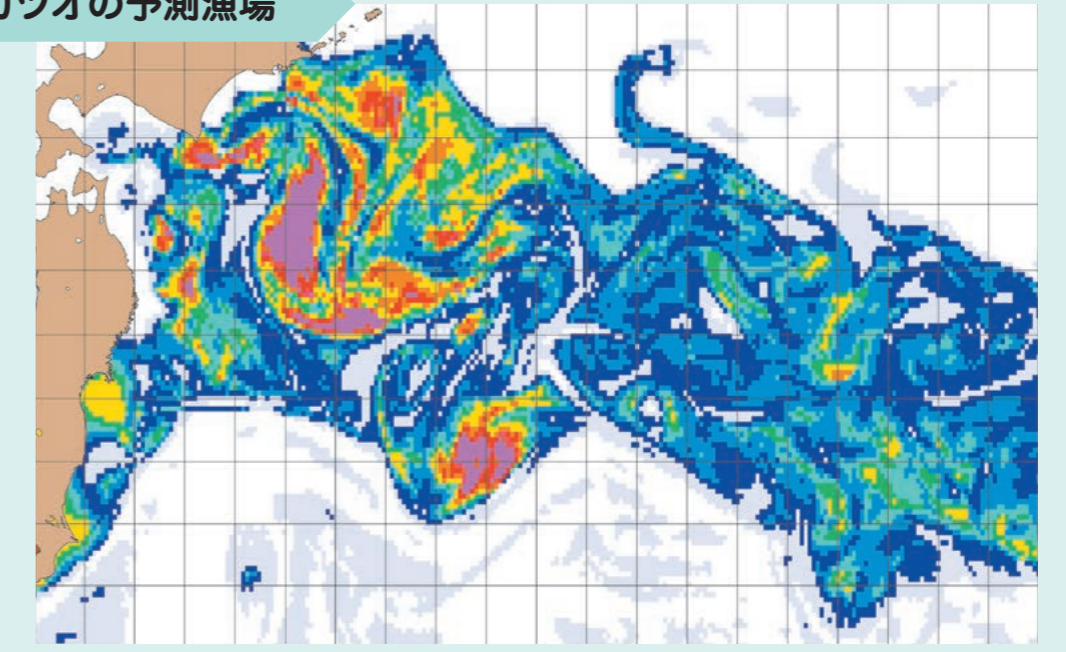
3 ANSWER 予測情報を漁船に届ける

予測情報はインターネットを通じて配信。陸上はもちろん、海上でも受信可能。予測情報をもとに港からまっすぐ漁場へ。

AIによるサンマの予測漁場



カツオの予測漁場



どんな魚が獲れているの？

「今年は魚が少ないのはどうして？」
 「魚のサイズが変わった気がする」「このあたりでは珍しい魚がいる！」
 海にも魚にも、季節や時代によって、様々な変化が起っています。
 JAFICでは、各地の魚、海、漁船の様子をしらべ、
 漁業の「今」と「未来」を発信します。



1 QUESTION

どんな魚が獲れているの？

今年は缶詰
 どれくらい
 作れるかな？



今年のサンマは
 大きい？
 小さい？

どうして大漁なの？
 どうして不漁なの？



2 APPROACH

どんな魚が獲れたか知るには

漁船や市場から情報を集める

- ① 漁業者に「どこで」「どれくらい」「どんな魚が獲れたか」などを日々直接聞き取り
- ② 市場で、魚の大きさや重さを、日々測定
- ③ 全国のデータを集約して分析

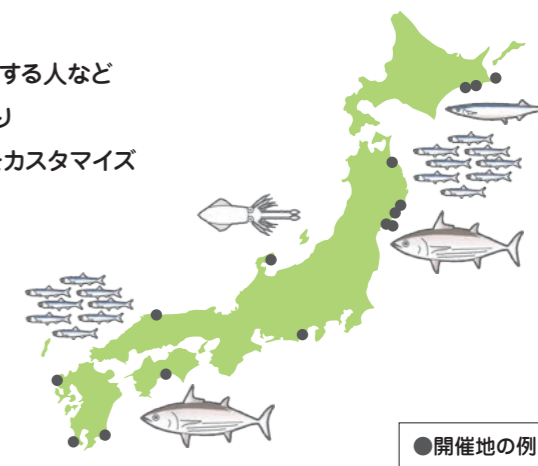


3 ANSWER

水揚情報を市場や企業に届ける

意見交換会

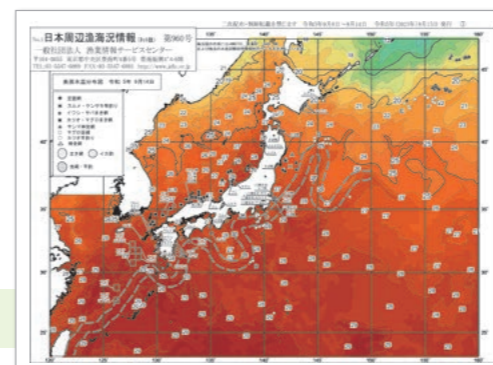
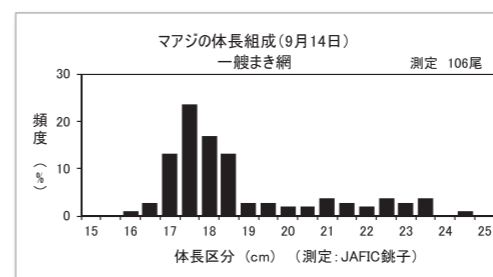
- ① 会の参加者は、魚を獲る人、買う人、加工する人など
- ② どんな情報が必要なのか、要望を聞き取り
- ③ 開催地や参加者に合わせてプログラムをカスタマイズ
- ④ JAFIC独自の予測も紹介



水揚情報の発信

主要魚種

- ① 主な魚の、水揚量、獲れた場所、サイズ情報をまとめてFAXやWebで発信
- ② 各地で今、何が獲れているかが一目瞭然



水揚物の写真情報

市場調査員から寄せられた水揚物の写真を発信。出現魚種の変化の定性的情報把握に貢献しています。



魚はどこで、どのくらい水揚げされている？

「どんな魚が、どの市場で、どのくらい水揚げされ、価格はいくらか？」
 ということは、水産関係者や消費者にとっては大きな関心事です。
 JAFICでは、これらの情報を全国の市場から収集し、
 統計データとして発信しています。

1 QUESTION

魚はどこで、どのくらい水揚げされている？

今日はどこで、
どのくらいカツオが
水揚げされたの？

今年のマイワシは
以前と比べてどのくらい
水揚げされているの？

今年のサンマの
価格は去年よりも
安い？ 高いの？

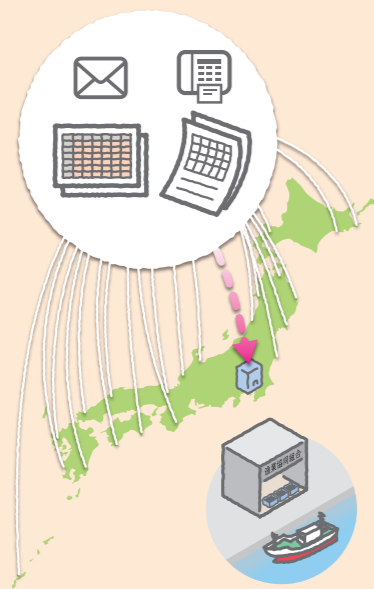


2 APPROACH

水揚市場・水揚量・価格の情報を知るには

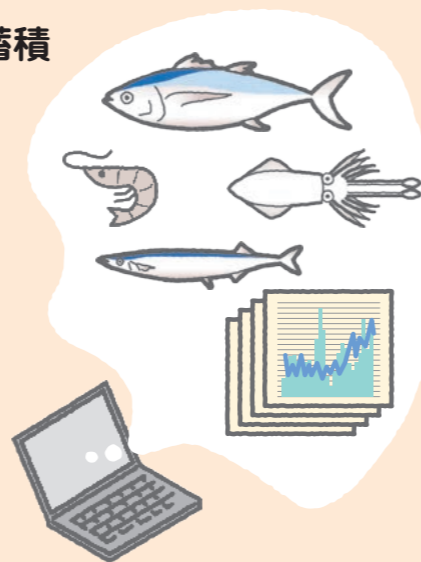
全国各地からデータを収集

北海道から沖縄県に至る全国約100カ所の市場および自治体、業界団体などから日ごと、月ごとにデータ収集



長期間、多様なデータを蓄積

- ①平成12(2000)年頃から長期間、データを蓄積
- ②魚種別、製品形態別(生鮮・冷凍・加工品など)の品目数はおよそ500



3 ANSWER

市況情報を企業や消費者に届ける

水揚量・価格データの発信



多様なデータを会員制の情報サービス「おさかなひろば」で発信。
 各地の最新の水揚量・価格や、日別・月別・年別の統計情報の閲覧が可能。

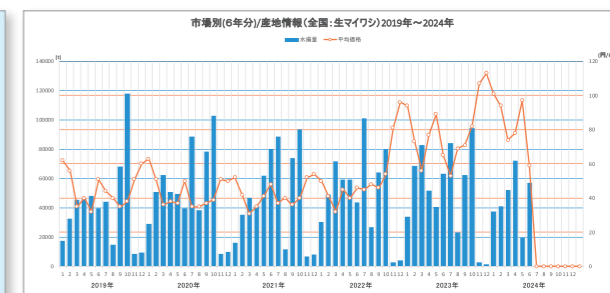
Webサイト



産地市場別6年分月報(例は生マイワシ)
 市場別、魚種別に直近までの6年分の水揚量と価格データを月ごとに表示。ユーザー自身が簡単な操作で表示データのグラフ化も可能。

市場別(6年分)/産地情報
 魚種名: 生マイワシ
 産地名: 全国
 単位: t
 価格: 円/kg

月	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格	数量	価格	数量	価格	数量	価格
1	17,688.80	62	29,252.90	63	16,371.40	52	30,387.30	50	34,170.70	94	37,736.10	101
2	32,766.70	56	50,633.80	51	35,191.80	42	48,868.30	41	68,514.10	73	40,923.00	94
3	45,493.60	35	62,218.40	36	47,051.60	31	71,614.70	32	83,009.90	56	52,022.20	74
4	46,148.60	40	50,740.40	38	41,270.50	35	59,089.60	45	51,729.80	77	72,247.20	78
5	40,190.20	32	49,421.10	37	60,152.40	41	59,156.40	40	40,772.90	89	19,906.80	97
6	39,918.00	51	39,955.00	50	79,991.60	48	43,732.00	46	63,217.80	65	56,978.10	59
7	44,024.90	44	88,433.00	35	88,660.70	37	101,262.20	45	84,081.40	53		
8	14,960.20	40	38,225.90	35	11,632.30	40	26,763.30	48	23,152.50	69		
9	68,043.80	35	78,311.60	37	73,755.60	36	64,039.40	46	62,618.10	71		
10	117,829.70	38	102,956.40	39	93,506.30	40	80,059.70	54	94,359.20	82		
11	8,795.30	51	8,837.20	51	6,848.40	52	2,776.60	81	2,828.80	107		
12	9,627.60	60	9,929.90	50	7,992.90	54	4,282.60	94	1,554.90	113		
合計	493,487.30	41	608,915.20	41	564,425.40	40	592,034.10	45	610,011.20	71	279,813.30	80



これからの水産業をデジタル化で支える

持続可能な漁業とするためには、AI・IoTの活用により、漁業の様々な業務の効率化や生産性向上を目指す必要があります。JAFICは水産業に関する情報を管理するシステムの構築、運用、管理についての豊富な専門知識、経験で国の進めるスマート水産の推進に貢献しています。

1 QUESTION

水産業に関するシステムとは？

資源管理システム
国内で水揚げされる漁獲物を管理するシステム
TAC制度の運用等に利用

漁船情報システム
漁業の許可、漁船の登録を管理するシステム

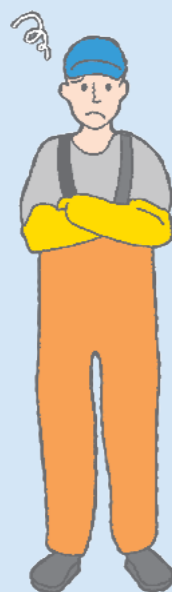
漁獲成績報告書システム
国へ提出する漁獲成績報告書を管理するシステム

frescoシステム
全国の試験研究機関のデータや調査船のデータを管理するシステム

他にも漁船の位置情報を管理するシステム、市況情報を集計するシステムなど…

2 APPROACH

システム間の連携を効率的に



同じ報告を何回もして面倒だな。

同じ情報でもシステムによって違う事があるのは不便だな。



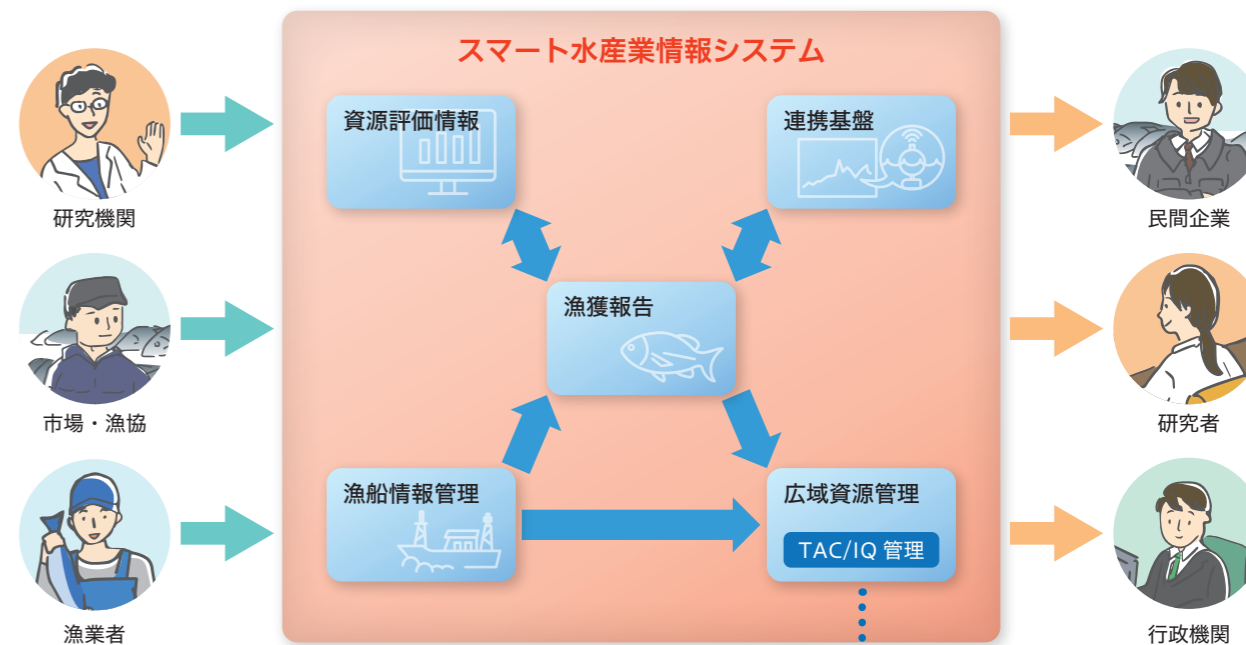
3 ANSWER

水産業に関する様々な情報を一元管理

漁獲報告システム

漁獲・水揚・操業・調査に関するデータなどを登録

資源管理・資源評価研究などに利用



各システム間で必要なデータを連携効率的に管理・利用

一度漁獲量が報告されれば、TAC管理にも資源評価にも利用される。

種別	品名	単位	数量	品質	備考
特定水産資源	さんま	kg	155	(155)	18 (18)
	【令和4年1~12月】				12 (12)
	【令和4年1~12月】		170	(170)	79 (113)
	【令和4年1~12月】		8	(8)	5 (8)
	【令和4年1~12月】		63	(63)	57 (54)
	【令和4年1~12月】		15	(15)	11 (8)
	【令和4年1~12月】		156	(151)	98 (85)
	【令和4年1~12月】		791	(973)	562 (576)
	【令和4年1~12月】		97	(77)	89 (55)
	【令和4年1~12月】		209	(286)	158 (233)
【令和4年1~12月】		143	(178)	142 (128)	
【令和4年1~12月】		79	(57)	24 (27)	

特定水産資源	資源管理	資源評価
さんま	155 (155)	18 (18)
【令和4年1~12月】		12 (12)
【令和4年1~12月】	170 (170)	79 (113)
【令和4年1~12月】	8 (8)	5 (8)
【令和4年1~12月】	63 (63)	57 (54)
【令和4年1~12月】	15 (15)	11 (8)
【令和4年1~12月】	156 (151)	98 (85)
【令和4年1~12月】	791 (973)	562 (576)
【令和4年1~12月】	97 (77)	89 (55)
【令和4年1~12月】	209 (286)	158 (233)
【令和4年1~12月】	143 (178)	142 (128)
【令和4年1~12月】	79 (57)	24 (27)

